

山形学院報

題字及び「愛」の字は故佐藤利吉先生です

2010年度主題聖句 『あなたがたは地の塩である。あなたがたは世の光である。』
[新約聖書・マタイによる福音書5章13~14節]

2010年度行動目標 「生徒とともに生き、学び、成長する」
～生徒一人ひとりを大切に～

学校法人山形学院
山形学院高等学校
山形学院 柏葉会同窓会

〒990-0039 山形市香澄町3-10-8
TEL 023-641-4116
FAX 023-641-4121

山形学院のホームページの紹介
<http://www.y-gakuin.ac.jp/>
E-mail info@y-gakuin.ac.jp



いま旅立ちの時

校長 北垣俊一

街中の家々の屋根に積もっている雪の量、今年の冬は大量の雪が降ったのだなあと実感させられます。雪の重さを感じつつ、思い出されたことがあります。北海道の高校に勤めていた頃、同僚や生徒と歌っていた一つの歌がありました。こんな歌詞でした。「重たい雪を真っ白にかぶったあの町でも、この町でもそのどこかで、どこかで春を待つ準備をしている草たちが、草たちがいーるよ。」

きびしい冬にじっと耐えて雪の下で新たな命が芽生える春を待つ草花、同じように私たちも心弾む思いで春の訪れを待つので。間もなくその時が到来します。

いのち輝く春の訪れは、人と人との別の季節に重なってまいります。

2011年、弥生3月、私たちは3年間の高校生活を終えた生徒たちを社会に送り出します。234名の卒業生が懐かしい学び舎から巣立っていきます。

今卒業生たちは2008年4月に本校に入学しました。2008年は、本校創立100周年にあたる年でした。記念すべき年に高校生活のスタートを切ったのです。3年間の高校生活、それぞれの足跡を残しながら、旅立ちの時を迎えました。

入学式で新入生代表は『山形学院高等学校に入学して決意したことが三つあります。まずは、勉強で頑張ることです。将来大学に進学したいと考えています。そのために一つ一つの授業に集中して取り組みたいと思います。次に部活動で頑張ることです。中学時代に所属していたサッカー部に入部します。入部したら人一倍練習したいと思います。最後に、お互に支えあっていける仲間を作ることです。自分の目標を達成するためには、一人だけではできないことが沢山あります。これからの中学校生活の中で最高の仲間を見つけてみたいと思います。』

と力強く宣言しました。この決意表明は入学生一人ひとりの心に宿るものであったと思います。卒業を迎えるいま、3年間の歩みを振り返って、生徒一人ひとりが勉学、部活動、生徒会行事など、さまざまな葛藤と闘いながら、友との強い絆に支えられて自分なりに取り組み、成長し、思い出豊かな物語を綴ることができたとすれば、まことに幸いなことです。

高校生活3年間は、誰にとつても何ものにも換え難い貴重な青春譜なのです。

2008年10月17日(金)、創立百周年記念式典を行いましたが、1年生もその式典に出席し、本校100年の歴史と伝統に流れるいのちに触れることができたと思います。歴史の大きな節目の時に本校に在籍し、その記念すべき行事に参与したことは、卒業した後々まで心の中に良き思い出として残り続けるのではないかと思います。この生徒たちは2007年から始まった「学校づくり3ヵ年ビジョン-地域に信頼され、愛され、選ばれる学校」の2年目の取り組みの中で歩み始めました。更に2010年度からの「学校づくり5年ビジョン-学力をつけ、個性を伸ばし、進路目標を実現する学校」と二つの教育の取り組みの中で3年間、自立への歩みを進めました。私たち教師集団はその取り組みで「品格のある制服の着用」と「挨拶がきちんとできる、する」ことを求めると共に、卒業後の進路実現に向けての学力アップを追求してきました。高校年代の大きな課題は「自立・自律」です。親離れし、大人になるため自立・自律の力をしっかり身につけることは生徒ひとり一人が自らの自覚と責任を持って取り組んでいくべきものです。わたしたち教師は学校ビジョンを共有しながら生徒との主体的な関わりの中で取り組んできました。授業、クラス活動、生徒会活動、部活動、さまざまな場面で生徒への要求を求めつつ、生徒の成長に関わってきました。生

徒は確実に成長しました。多様な個性、それぞれの持つ可能性が、いろいろな花を咲かせ、一人ひとりが輝いています。

毎日の学校生活の展開が大事です。本校は毎朝、全校生、教職員が揃って全校礼拝を守ります。その中の教師や生徒の奨励は人としての生き方、あり方を考える導きとなっています。その後の全校生揃っての「身だしなみの点検」と「あいさつ」の励行。何事も続けることで良き態度形成に繋がってまいります。そんな営みの中で生徒たちは一人ひとりが自らの自覚と責任を持つ存在として自己認識を深めていったとおもいます。

山形学院の教育の基本姿勢は「生徒と共に生き、学び、成長する-生徒一人ひとりを大切にする」にあります。教師と生徒との相互信頼のある関わりの中で求め、求められつつ、生徒たちは自分たちの課題達成を主体的に成し遂げていくものです。教師側からのお仕着せ的、管理主義的な追求だけで達成できるものではありません。わたし達の働きには多くの欠けもありますが、自主的・自律的な人格の形成への努力をしてきました。私たち教師も生徒たちから多くのことを学び成長しました。

この3年間、卒業への志を持ちながら、途中で学窓を去っていった生徒たちも一定数います。まことに残念なことです。私たち教師集団の力不足を痛感しています。今本校を巣立ち、卒業生が向う日本の社会は、政治や経済の不安定、言い知れない閉塞感が人々の心に重くのしかかっている状況にあります。「無縁社会」というような言葉が大きくクローズアップされるような人と人の関係が壊れ、さまざまな格差が人間の尊厳さやいのちを奪う悲しい社会の姿を露呈しています。しかし未来社会を担う人々は、自分たちの力で社会を変えていく強い信念と希望を持って恐れず突き進んでいき、確かな未来を切り開いていって欲しいと願うものです。

卒業生一人ひとりの前途に神様の豊かな祝福があることを祈ります。

『苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生む』(新約聖書ローマ5:4)

「第48回技能五輪全国大会」 かながわ2010

日本料理部門

技能の修得には長年の修行を必要としますが、競技では基礎的な調理技能を重視した課題をもとに審査されます。



3年調理科
阿曾 楓



3年調理科
五十嵐 望



卒業生
清野 桂

(ホテル古窯 平成19年調理科卒業)

「食の甲子園 in 山形全国大会」

2010年10月31日 山形学院高等学校
調理室を会場に行われました。

優秀賞
「食文化賞」



3年調理科 佐佐木 藤藤 越 直裕一 人樹仁

2年食物調理科



第1回 佐利杯



9月17日、料理コンテスト本審査に各学年10名が臨んだ。調理科生徒が夏休みに考えたレシピの中から選ばれた作品だけあって、味や盛り付けに工夫とこだわりがみられた。テーマは1年生「愛情おにぎり」2年生「お手軽シーフード料理」3年生「地域食材を利用した肉料理」。それぞれの技術と発想力が高く評価され、表彰された。

3年調理科生徒 体験講座



「紅花料理教室」

10月23日(土)
講師:大山るり子(本校卒業生)



「紅花染め講習」

9月18日(土)
講師:大山るり子(本校卒業生)
天童紅花まつり実行委員会で普及活動に尽力なされています。



「和菓子講習」

11月16日(火)
講師:若月 嘉弘
西川町にて菓子舗「若月」を経営。



「洋菓子講座」

11月17日(水)
講師:武田 克美(本校卒業生)
手作りのケーキとカフェの店『Bon Coeur (ほんくうる)』のオーナー。パティシエ。



「そば打ち体験」

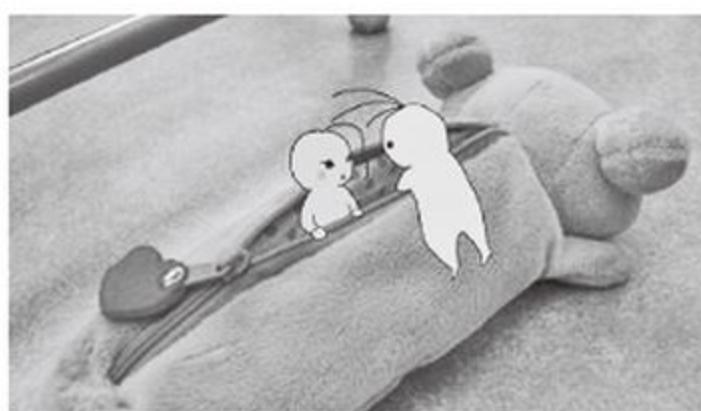
12月 4日(土)
講師:小笠原 彰(本校卒業生)
すっぽん・ふぐ料理の店『光仙』のオーナー。

情報創造科 課題研究

「動画を作る」

情報創造科A

川崎有紀 鈴木真理子
鈴木貴和子 齊藤育美



私たち、課題研究で「動画」を作りました。このテーマにした理由は、プログラミングの授業で動画を作り、その授業で作ったものよりもっとレベルの高い作品に挑戦したかったからです。動画を作るにあたって「キャラクター設定と絵コンテ」「背景の撮影」「キャラクターのかきこみ」「動画編集」の四段階に分けて制作しました。

①「キャラクター設定と絵コンテ」

土台となるキャラクターの設定とキャラクターの動かし方を決めました。形から大きさ・色合いを紙に書き出し、コマごとにどう動くかを決定していきます。

②「背景の撮影」

絵コンテで決めた場面に合わせてカメラで撮影していきます。今回は、学校をテーマとしていたので、校内をまわって撮影していました。

③「キャラクターのかきこみ」

撮影してきた写真にキャラクターを書き加えています。このとき、書き加えたキャラクターのサイズが違つてしまったり、大きさが変わつてしまい、作業の中で一番大変でした。

④「動画編集」

キャラクターのかきこみが終わつた写真と使用する音楽をムービーメーカーに取り込み、動画に編集していきます。これが終われば完成です。

動画を作つてみて、キャラクター設定や絵コンテから動画を作るのは、思つて以上に大変で、今回の制作に使用した画像は150枚ありました。それでもなかなかスムーズに動いてくれず苦労しました。でも、満足のいく動画を作ることが出来ました。

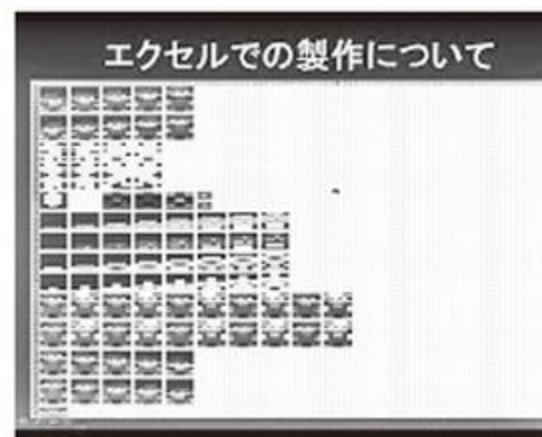
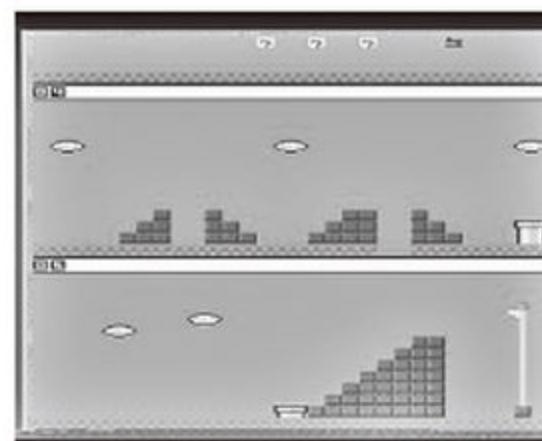
〔文責 川崎有紀〕

「エクセルでのゲーム制作」

情報創造科B

守下勇一郎 遠藤樹生
木村龍汰 斎藤祐樹

僕たちは今回の課題研究でエクセルをつかい、ゲームを制作しました。内容はみんながよく知つているようなゲームです。今回制作にあたり、苦労したのはゲームを制御するためのプログラミングです。プログラムを作る過程で思ったとおりに動かなかつたり、エラーがでてしまつても大変でした。



発表当日は実際に1年生の生徒にゲームをプレイしてもらいました。ゲーム画面をスクリーンに映していたので、いろんな所にワナが仕掛けてあり、そのワナにうまく引っ掛ってくれたので会場に居た人は笑っていました。

3年生最後の発表で悔いの残らない発表にできたのでとても充実した課題研究だったと思います。

〔文責 守下勇一郎〕

第二学年 修学旅行報告 生徒感想

「沖縄コース」

6組 和田拓也

私たちは4泊5日の旅行に行ってきました。沖縄では平和学習が一番印象に残っています。「座喜味トーガーの壕」や「ひめゆり資料館」などをタクシーで回り、戦争の恐ろしさや平和の大切さを肌で感じることが出来ました。ほかにも町の中に大きな米軍基地がありここに住む人々は危険と隣り合せで暮らしているのだと思いました。また、シュノーケリングをしたり、伊江島の民泊先では夜釣りに連れて行ってもらつても楽しい思い出が出来ました。この修学旅行で得たことを忘れず、今後の学校生活に活かしていきたいと思います。

「韓国コース」

5組 日下部梨花

私たちは5泊6日の行程で韓国に行つてきました。「独立記念館」や「堤岩教会」では日本と韓国の暗い歴史について学び、日本が韓国にどのようなことをしてきたかを知りました。姉妹校の京一高校では温かい歓迎を受け交流会やスポーツなどを通し、言葉の壁を越えて有意義な時間を過ごすことが出来ました。「JUMP公演」や「ロッテワールド」、班別行動では韓国のおもしろい部分を全員が感じてこれたと思います。これからを生きていく私たちは、他の国のこと了解更多して一緒に平和な世界を作つていけたらいいと思います。

「シドニーコース」

1組 大沼和史

私たちはシドニーへ9泊10日の旅行に行ってきました。午前中は語学学校へ行き、午後からは、ショッピングモールや水族館、博物館に行き、その後ホームステイ先帰るという生活でした。その中で現地の人やホストファミリーと英語でコミュニケーションの難しさを感じました。しかし、言葉や文化は違えど、そういうものを越えて通じあえたり、わかり合えたりすることができるということに気づきました。日本とは違う文化に触れたこの貴重な体験を今後の学校生活に活かしていきたいと思います。

YMCA 2010年度活動

YMCA部の2010年度の活動は、主に福祉について学び、体験しながら自分たちにできる「愛の働き」は何かを考え、実践してきました。



YWCA東北・北海道地区カンファレンス(8/29~8/31)



車椅子利用者の方のお話を聞きした後、車椅子ダンスに挑戦しました。



山形県内の福祉施設について
発表しました。



ハンディを持つ方々と一緒に
ピザを作りました。

YMCA部では、
ベルマーク運動・古切手の
回収運動なども行なっています。
今年度も皆さんより
たくさんのご協力をいただきました。
ありがとうございます。
2011年度も、
よろしくお願ひいたします。

「山形学院21世紀教育振興募金」お礼・ご報告

学院の 教育充実のために 募金にご協力を。

この募金は、生徒の奨学資金、公開講座、その他の教育活動を支えていくために設けております。学校内外にご芳志、ご協力、衷心より感謝申し上げます。

この振興募金から2つの奨学金制度を継続しています。また、公開講座として、料理教室、ハングル学習会を開くことができています。

「21世紀教育振興募金」の充実は、本校の教育活動を一層拡大・充実するものとなります。是非今後とも学校内外の皆様のご協力をお願い申し上げます。

I 山形学院学業奨励奨学金制度

対象・2年在籍の生徒で、学校生活、学業に努力し、人物に優れた者。
各学科より3名。

奨学金・10万円（返済義務なし）

II 山形学院貸与奨学金制度

対象・本学院に在籍する生徒で、各家庭の事情により経済的な協力を必要とする者。
6~7名。

奨学金・1ヶ月2万5千円
(年間合計30万円)、
貸与（卒業後に返済の義務を負う）

献金者ご芳名 (2010年2月16日～2011年1月31日)

■「21世紀教育振興募金」

- ・日本基督教団天童教会・日本基督教団新庄本町教会・(有)JOB保険・2008年度卒業生
- ・原 裕・森 睦・江口義房・古川幸夫・佐藤 充・高橋一幸・後藤強史
- ・富樫義雄・阿部昌宣・武田美紀・木村周司・田邊 寿・半田洋一・荒井勇治
- ・高藤知佐子・佐藤 晋・岩田よし子・瀬野英昭・武田芳明・佐藤洋介・武田トモ子
- ・荒井利弘・佐藤有希子・渡邊克夫・國井博幸・森谷 浩・深瀬吉彦・宝池 明
- ・高橋重美・中島正博・丹野雅裕・土屋ひろ子・小関秀之・市川秀明・横 優子
- ・奈良 譲・多田正洋・佐藤啓太・鈴木 隆・安田春美・設楽栄次・石澤一広
- ・松本勘次・高橋利枝・佐藤智秋・浅野佳津義・佐藤義昭・横江俊郎・舟田晴美
- ・森 孝・齊藤清一・五十嵐 亨・土屋三郎・粟野政典・海野洋一・鈴木正人
- ・千場章雄・障子 衛・小川和広・猪俣幸一・岡崎紀子・多田洋一・須田良博
- ・今野浩一・安孫子守人・今野雅明・寒河江 孝・鈴木明浩・北垣俊一・鈴木洋子
- ・揚野 昇・佐藤真和

■「21世紀学校維持募金」

- ・(株)アサヒコーポレーション山形営業所・(有)武田カバン店・山形国際ホテル
- ・(株)カスカワスポーツ・原田由美子・(株)大沼代表取締社長 児玉賢一・石川桂子・本田四志子
- ・和風ビジネスホテル さいとう・2009年度卒業生